「二学期終業式」校長訓示

本日で二学期が終わりますが、振り返ってみて皆さんの二学期はどうでしたか？そして、令和四年もあと一週間ほどになりました。令和四年はどんな年でしたか？私は、この一年の出来事で記憶に残っているものの一つに、つい先日行われたサッカーワールドカップがあります。みんな知っているように日本の活躍は素晴らしいものでした。ドイツを破り大喝采を受けた後のコスタリカ戦でまさかの敗北。一転して批判集中、天国から地獄、世論の総攻撃の中での森保監督の言葉が大変印象に残っています。何と言ったか 「良くなかったことであれ、全て過去の事はポジティブ変換する。そして、過去を生かす。」と言い放ちました。そして、この言葉のとおり軌道修正を行い、スペイン戦では後半から次々と選手を交代し、采配が当たり逆転勝ち、二大会連続のベスト16進出を果たしました。

過去に起きた事実は変えられない。しかし、その意味は変えられる。起こった事実を、自分の中でどうとらえていくかです。人生でも同じことが言えると思います。今、この瞬間の心持ち、一念が過去を意味あるものにし、未来をも決めていく。逆の事もありうるわけです。今、この瞬間の一念が決意、目標、やる気も定まっていないものであれば、過去の良くなかった出来事にひきづられ、立ち止まっている状態となり、より良き未来への道も閉ざしてしまう。

今ここにいるみんなにとって、この二学期、この一年良いこともあれば、失敗もあったと思います。どうかこの冬休みに決意、目標、一念を定めて、失敗を生かし、来るべき新年を良い方向に開いていってほしいと思います。来年も佐実にとっては、生徒主体の学校へ、STEAM教育の開始とまだまだいずれも変革の途上にあり大切な年となります。しかし、一番大切なのは、その土台に生徒諸君一人ひとりの成長と満足感がなければ意味がありません。

もう一度いいます。過去も未来も全て今、現在の自分の一念の中にあります。一念を定めて、ともに 2023 年を良い年にしていきましょう。

最後になりますが、冬休み中は生徒心得と担任の先生の指導をしっかり守り、1月10日は元気な顔を見せてください。以上で訓示を終わります。